



七校便り

宮城県白石高等学校七ヶ宿校

No. 35

平成24年10月 1日

高校生の思い

9月14日(金)、活性化センターで、校内生活体験発表大会が行われました。10月6日(土)に、東松島コミュニティーセンターで行われる県大会の予選を兼ねたものです。

『生活体験発表大会』は、定時制・通信制高校に通う生徒達が、自分達の日常や悩みや主張などを、自由に発表するもので、県の代表1名が全国大会に進みます。

今年は11名の生徒が発表し、1年生の小野知美さんが『高校生』という題で、最優秀に選ばれ、県大会に出場することになりました。小野さんの作文は、次号の七校便りに全文を掲載する予定です。



最優秀賞の小野 知美さん

ここでは、優秀賞に選ばれた1年の高橋里美さん、2年の高野 悠希君、そして、発表会に参加しなかった生徒の中から2年の山家 直人君の作文を抜粋で紹介합니다。

高橋 里美(1年, 七ヶ宿中)

私は、中学生の頃から介護福祉士になりたいという夢を持っています。介護士になろうと思ったきっかけは二つあります。まず一つ目は、小学四年生の頃から地元の老人施設で、ボランティア活動を行い、中学三年の夏には

職場体験で同じ場所を訪問したこと。二つ目は、介護士の方々の頑張る姿にひかれたこと。この二つが、私の夢を導いてくれたのです。

特に、中学三年夏の職場体験では、とてもよい体験ができました。送迎や会話、お風呂上がりの髪の毛のドライヤー掛け、お昼の配膳などをしました。その中でも大変だったのは、利用者の方々との会話です。最初は自分から積極的に話すことができず、職員の方に頼ってばかりでしたが、段々と時間が経つにつれて、自分から利用者の方々と面と向かって話すことができるようになり、とても安心して会話をすることができるようになりました。この経験から、コミュニケーションの取り方が大切だということを学びました。

今の日本では、福祉関係の仕事に就いている人が少ない反面、介護士やヘルパーの資格を取る学生さん達が多くいるそうです。私も、国家資格を取得できるように、勉強に力を入れていきたいと思います。そして、卒業後には、社会人としてみんなから頼られる、優しい介護福祉士になりたいと思います。

高野 悠希(2年, 円田中)

【六月の練習会で足が痛くなり、七月の県大会では棄権し、マネージャーとして全国大会に行くことになった。前半省略。】

8月13日、ようやく国立競技場に着くと、人が一杯いて、この中で走ると思うと、自分が走るわけでもないのに緊張してしまいました。練習の時に、自分も一緒にトラックを走れたのは貴重な体験でした。練習が終わり、係の人達が開会式の準備や競技の準備をしているのを見て、来年は絶対に選手として来てやると、心に誓いました。

二日目は、陸上部全員が、競技に出るので、

マネージャーの仕事を一生涯やろうと思いましたが。気付いたこと、頼られたこと、何でもやってやろうと思ひ、アップの準備や荷物運び、写真、ビデオと休む暇がありませんでした。競技を見ていて、これが全国大会なんだと思ひ、来年は必ず自分の力で来たいと改めて思ひました。

この全国大会で印象深かったのは、一年の史織さんが砲丸投げで優勝したことと、直人さんが円盤投げで十位になったことです。二人の姿を見て、陸上が専門の遠藤先生について練習をしっかりやれば、結果はついてくるんだと思ひました。

みんなの支えがあつて、自分は東京に連れて行ってもらえました。来年の目標は、何としてもがむしゃらに頑張つて、自分の力で全国大会出場を決め、欲を言えばいい記録を残せたら最高です。これからまた、来年に向けて毎日体力作りをして、全国で通用するようになり、来年の陸上部のみんなと頑張りたいです。

山家 直人（2年、福岡中）

みなさんは、雲を見て何かを感じたことがありますか？僕はあります。

僕がこのことを考えるようになったのは、夏休み後半の或る日のことである。

【友だち二人と一緒に川に遊びに行き、虫捕りなどをした。途中省略。】

それから、途中で買った惣菜や、友だちが作ってきたおにぎりや、お昼にした。その後で、また川に入った。と、その時、

「あの雲、ライオンに見えね？」と、友だちが言った。

「見えねえよ。」

「何でだよ。あれがたてがみで、あれが牙で。」と、友だちは説明を始めた。

「俺的にはクマに見えるけど。」

「いや。ライオンだよ。」

僕たちが言い合っている時に、もう一人の

友だちが、

「私は、サメに見えるなあ。」

「いや。ライオンだろう。ライオン！」

僕はもう一度雲を見た。少し見方を変えれば確かにライオンにもサメにも見える。

「ちょっと見方を変えると、確かにサメにもライオンにもクマにも見えつけど。」と、僕は言った。

「確かに、クマとかに見えるかも。」と、友だちはやっとな得した様子だった。その後も、あの雲は、カメに見えるとかピカチューに見えるとか、雲の形の話で盛り上がった。

山を下りる頃には、周りは真つ暗だった。僕は友だちと別れて、家に帰った。

家で僕は、今日あつたことを考えた。雲は見る人によって見える形が違うし、ちょっと見方を変えると全然違うものに見える。面白いと思つた。

次の日、僕は雲を少し観察してみることにした。昨日と同じように、空を見上げ雲を見ていると、カメみたいな雲を見つけた。僕はその雲をまた違う角度で見た。すると怪獣みたいに見えた。その後も、雲を見て色々な形を見付け、色々なことを考えた。見方を少し変えると全く別なものに見えるということ、時間と共に風に流され形を変え、いつも同じではいられないということ。こんな短時間で、色々なことを教えてくれる雲を、僕は凄いとつ思ったし、面白いと感じた。

僕は、この日感じたことを、記憶の底に留めよう。

みなさんも、時間があつたら雲を見てください。何か新しい発見があつて楽しいと思ひますよ。

10月21日(日) 10時～

七校祭 です。

お気軽に、お越しください。